# 第1回田原市上下水道料金検討委員会 会議の概要

1. 日 時	令和4年10月12日(水) 午前10時から午前11時45分
2. 場 所	田原市役所 会議室
3. 議 題	(1)会長、副会長の選出について (2)田原市上下水道事業の概要について
4. 出席者	委員 5 名 (1 名欠席) 事務局 (7 名)

#### 5. 会議録

# 1. 市長あいさつ

これからの安定的な上下水道の運営のために、料金改定に関して色々な立場で意見を出していただきたい。

- 2. 委員紹介(検討委員会委員参照)
- 3. 会長、副会長の選出

会長:愛知大学地域政策学部教授、副会長:田原市地域コミュニティ連合会理事

- 4. 田原市上下水道事業の概要について
- ・ 水道事業の概要について、事務局から説明(田原市上下水道事業の概要参照)
- ・ 主な質疑等
  - Q.整備等に関する計画は作成しているのか。
  - A.経営戦略(主に財務面)と基本計画(施設整備)を作成しており、いずれも令和 12 年度までの計画。 見込みよりも工事費がかかっており、見込んでいたよりも施設の更新が進んでいない状況。
  - Q.劣化状況を調査して必要投資金額を計算しているのか。
  - A.固定資産台帳等で把握している設置年度の古いもの等から優先順位を定めて更新を進めており、配管の劣化状況調査は行っていない。なお、現存する管を一度更新すれば終わりではなく、将来にわたり更新のサイクルが続くことになる。
  - Q.配管の更新は新しい配管を引きなおすのか。既設の配管を有効活用は。
  - A.飲料水を供給しながらであるため、新しい配管を引きなおす。
  - Q.料金回収率が96%と低いが、費用はどのように賄っているのか。
  - A.過去の年度の収入を補填財源にしている。
  - Q.設備更新のための莫大な資金は、全てを料金収入で賄うのではなく、企業債(借入)も活用しながらバランスよく資金配分を考えていくことも必要。企業債残高は少ないほど良いというわけでもないということでよいか。
  - A.理論的には、減価償却分が留保されれば世代間の公平性が図れるはずで、企業債残高がなく運営していけるのが理想。実際には耐用年数どおりに更新されないものもあり、現時点で十分な留保資金もなく、一定の企業債は必要。
- ・下水道事業の概要について、事務局から説明(田原市上下水道事業の概要参照)
- ・ 主な質疑等
  - Q.有収率低下の要因に管路の劣化が考えられるとのことだが、劣化は他団体も同じと考える。なぜ田原市だけ類似団体と比べて低い傾向にあるのか。
  - A. 本市は、砂地があり水を吸水しやすいという点と、土地が平らで、集中的に集めるように深く整備しているため地下水等が入りやすいと考えられる。
  - Q.平成27年と令和3年を比べると有収率が10ポイント以上低下しているのはなぜか。
  - A.平成28年から平成30年にかけて農業集落排水の4処理区を公共下水道へ統合した。人口密度が低く管路が長い地域が公共下水道に加わったことも影響していると考えられるが、はっきりとした理由は不

明。

- Q.有収率が、農業集落排水事業は下がっていないが、公共下水道事業は下がっている。なぜ差が出たのか。
- A.農業集落排水事業は21か所施設があり、昭和54年から平成28年までに供用開始した新旧が混在するため、全体でみると有収率が下がっていない状況となっている。
- Q.人口の95%を接続できる管があるということだが、それに対し接続率はどれくらいか。
- A.接続率は、令和3年度末時点で91.3%。
- Q.公共下水と農業集落排水の使用料について、今後の考え方は。
- A.農業集落排水事業の固定料金については、公共下水道のように使った水量分を支払う料金体系にしたい。今は、使用水量の少ない家庭が多くなっており、その方が公平と考える。
- Q.平成5年から平成15年にかけて多額の整備が行われ、何年か後に更新時期がくるということだが、経年何年かで計算しているのか。劣化状況を調査しているか。
- A.劣化が激しい個所など不明水調査を含め調査は行っているが、耐用年数が基準となっている。

# 会長まとめ

これからの更新費用を考え、上下水道料金について突っ込んだ検討をしていかざるを得ないが、今の情勢は景気も悪く物価も上昇しているため、市民負担への配慮が必要。根拠を示していただいた上で、しっかりと議論し、我々も納得して結論を出していきたい。

# その他の意見

- ○下水道の利用環境が変わってきた。更新管路のサイズなど、いかに投資額を適切にするか、出費額を コンパクトにするか、全体バランスで見るとよいのではないか。
- ○初めて聞いた話で難しかった。料金を上げないといけないということは分かったが、この資料だけでは 判断が難しい。
- ○西三河地区との料金体系の比較も、提供していただきたい。

# 5. その他

次回会議の日程、議題を共有